

宇佐市議会

小学校紹介シリーズ



三世代の集い

宇佐市立糸口小学校 (児童数 84 名)

学校教育目標「やさしく かしく たくましく」を常に意識した教育活動を進めています。中でも、本年度で29回目となる『三世代の集い』は、①「地域の宝である子どもたちを保護者・学校だけでなく地域の方々とともに育てていこう」②「地域の方々へ日頃の感謝の気持ちで『おもてなし』をしよう」という目的で進められています。

児童の学習発表だけでなく、糸口学園や更生保護女性会・糸口音頭保存会・ミックスサウンズ等による出し物、地域の方との昔遊び、手作り昼食、バザーなど、みんなが楽しく交流できる場になっています。



あいさつレンジャーになり、あいさつ運動に励む子どもたち

宇佐市立駅館小学校 (児童数 363 名)

本校では、教育目標や合言葉を常に意識しながら教育活動に取り組んでいます。特に、児童会テーマ「心を合わせて育てよう。～あいさつの花～」を達成できるように、毎朝のあいさつ運動やあいさつスタンプラリー等に全校一丸となっています。

また、地域にもあいさつを広げようということで、子どもたちの地域でのあいさつの様子を各地区の自治委員さんに評価もしていただいています。

その成果もあって、あいさつの花がぐんぐん育ってきていると感じています。これからも、学校・家庭・地域が一体となった取り組みを進めていきたいと思っています。

5月臨時会

○新議長・副議長・各種委員を決定

6月定例会

○平成25年度一般会計補正予算案・各種条例案を可決

目次	定例会の主な内容・議決結果一覧表……………	P.2~4
	一般質問……………	P.5~11
	市民の声、編集後記……………	P.12



5月臨時会

是永市政2期目就任後、初の議会



去る、5月8

日、是永宇佐市長の2期目就任後、初めての議会を宇佐市議会議事堂にて開きました。まず、市長があいさつを行い、その後、正副議長の選挙、議会運営委員会や各常任委員会（総務・文教福祉・産業経済・建設環境）の委員改選を行いました。

した。続いて、1件の補正予算案と5件の専決処分の承認、4件の人事案が上程され、質疑・討論・採決の後、すべての議案を原案のとおり、可決・承認・同意しました。

正副議長決まる

本臨時会において、正副議長の選挙を行い、議長に徳田 哲氏、副議長に佐田則昭氏が選任されました。



徳田 哲 議長



佐田則昭 副議長

平成25年5月第2回宇佐市議会臨時会におきまして、議長、副議長に就任しました。宇佐市議会は、6万市民を代表する意思決定機関であります。

市民の皆様への信託にお応えするには、議案や請願の議決はもとより、貴重な税金がどのように使われるのか、公正公平に使われたのかなどの視点で、行政の監視と評価をしつかり行うことが重要と考えます。

また、市民の皆様の多様な意見を賜りながら、市民生活と公共福祉の向上、宇佐市発展のための政策立案を積極的に行い、より良い政策、施策の実現に努めていく所存でございますので、市民の皆様には、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

委員の任命・選任

《監査委員》

原田芳文氏（赤尾）

大隈尚人氏（院内町高並）

《公平委員会委員》

山崎末昭氏（安心院町板場）

《固定資産評価員》

高月晴彦氏（四日市）

議会推薦の農業委員

河野康臣氏（上高家）

後藤竜也氏（江須賀）



平成25年5月 第2回宇佐市議会(臨時会)議決結果一覧

(議案)

番号	件名	結果
議第50号	平成25年度宇佐市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議第51号	専決処分の承認を求めることについて(平成24年度宇佐市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号))	原案承認
議第52号	専決処分の承認を求めることについて(宇佐市税条例の一部改正)	〃
議第53号	専決処分の承認を求めることについて(宇佐市都市計画税条例の一部改正)	〃
議第54号	専決処分の承認を求めることについて(宇佐市国民健康保険税条例の一部改正)	〃
議第55号	専決処分の承認を求めることについて(宇佐市税特別措置条例の一部改正)	〃
議第56号	宇佐市監査委員の選任について	原案同意
議第57号	宇佐市公平委員会委員の選任について	〃
議第58号	宇佐市固定資産評価員の選任について	〃
議第59号	宇佐市監査委員の選任について	〃

宇佐市議会委員会等構成

(平成25年5月8日選任)

委員会名		委員名			委員会名	委員名			
議会運営 9名	◎中島孝行 浜永義機 久保繁樹	○斉藤文博 後藤竜也 辛島光司	佐田則昭 木下一夫 永松 郁		議会活性化 8名	◎衛藤義弘 広崎讓二 河野睦夫	○今石靖代 後藤竜也 辛島光司	新開洋一 井本裕明	
常任 委員会	総務 7名	◎河野睦夫 浜永義機 衛藤正明	○広崎讓二 中島孝行 大隈尚人	宮丸龍美	特別 委員会	行財政 改革推進 10名	◎木下一夫 衛藤博幸 徳田 哲 佐田則昭	○今石靖代 中島孝行 釜口 孝 永松 郁	林 寛 浜永義機
	文教 福祉 7名	◎河野康臣 釜口 孝 斉藤文博	○衛藤義弘 今石靖代 久保繁樹	徳田 哲	企業誘致 推進 10名	◎宮丸龍美 佐田則昭 加来栄一 用松律夫	○後藤竜也 相良公治 久保繁樹 衛藤義弘	衛藤正明 徳田 哲	
	産業 経済 6名	◎新開洋一 永松 郁 林 寛	○後藤竜也 用松律夫	佐田則昭	議員定数に 関する調査 13名	◎久保繁樹 広崎讓二 木下一夫 後藤竜也 衛藤義弘	○辛島光司 佐田則昭 永松 郁 斉藤文博 浜永義機	林 寛 用松律夫 中島孝行	
	建設 環境 6名	◎加来栄一 相良公治 辛島光司	○井本裕明 木下一夫	衛藤博幸	宇佐・高田・国東 広域事務組合議会	浜永義機 斉藤文博	相良公治 永松 郁	辛島光司 徳田 哲	
					大分県後期高齢者 医療広域連合議会	衛藤義弘			

※◎は委員長、○は副委員長

※議員定数に関する調査特別委員会については平成25年6月11日選任

6月定例会

平成25年6月第3回宇佐市議会定例会を6月11日から6月27日までの17日間の会期で開催しました。

上程された議案は追加を含め10件で、すべてを原案のとおり可決しました。

また、今定例会に提出の請願4件のうち、2件を採択、2件を継続審査とし、そのほか意見書案2件を可決しました。

〔本会議第1日〕(6/11)

◇議案の上程及び説明

平成25年度一般会計補正予算(第2号)案のほか、条例案など9件と報告6件が上程され、市長から提案理由の説明がありました。

また、議員定数に関する調査特別委員会を設置しました。

〔本会議第2～4日〕(6/17～19)

◇追加議案の上程(6/17)

予算案1件、報告1件が追加提案されました。

◇一般質問(6/17～19)

3日間にわたり、11名の議員が市政一般に対する質問を行いました。

〔本会議第5日〕(6/20)

◇議案質疑

上程された議案に対し質疑を行いました。

〔本会議第6日〕(6/27)

◇各常任委員会の審査報告の後、質疑・討論・採決

各常任委員長から議案・請願の審査報告があり、その審査結果を基に採決を行いました。議案10件を原案のとおり可決。請願2件を採択しました。

◇意見書案の上程

意見書案2件が追加提案され、可決しました。

◇選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙

6月26日で任期満了となった選挙管理委員会委員及び同補充員を指名推薦で選出しました。

○選挙管理委員会委員(4名)

永野文雄氏(安心院町山ノ口)

牧野光男氏(和気)

高橋明博氏(長洲)

松本兼次氏(浜高家)

○同補充員(4名)

小野達夫氏(院内町高並)

河野孝一氏(安心院町恒松)

加藤邦昭氏(上矢部)

安倍正臣氏(院内町大副)

平成25年6月 第3回宇佐市議会(定例会)議決結果一覧

(議案)

番 号	件 名	結 果
議第60号	平成25年度宇佐市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
議第61号	宇佐市平和資料館設置条例の制定について	〃
議第62号	宇佐市子ども・子育て会議条例の制定について	〃
議第63号	宇佐市工場立地法地域準則条例の制定について	〃
議第64号	地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件に関する条例の一部改正について	〃
議第65号	宇佐市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	〃
議第66号	宇佐市工場等設置促進条例の一部改正について	〃
議第67号	工事委託に関する協定の締結について	〃
議第68号	市道路線の認定について	〃
議第69号	平成25年度宇佐市一般会計補正予算(第3号)	〃

(請願)

番 号	件 名	結 果
請願第4号	宇佐市学校給食における地元漁獲魚介類採択に関する請願書	採 択
請願第5号	「少人数学級実現」、「義務教育費国庫負担制度堅持・教育予算の拡充」を求める意見書採択の請願書	〃
請願第6号	「国民健康保険制度の広域化の中止を求める意見書」を国へ提出することを求める請願書	継続審査
請願第7号	「慰安婦」問題の発言への抗議・撤回に関する決議を求める請願	〃

(意見書案)

番 号	件 名	結 果
意見書案第2号	「少人数学級実現」、「義務教育費国庫負担制度堅持・教育予算拡充」を求める意見書	原案可決
意見書案第3号	「保険でよい歯科医療の実現を求める」国への意見書	〃

賛否の分かれた議案の採決結果 (5月臨時会、6月定例会)

議案番号	議員名 案件・結果	後	河	広	衛	河	井	辛	今	中	木	加	新	林	用	大	衛	宮	佐	釜	永	齊	浜	衛	相	久	徳
		藤	野	崎	藤	野	本	島	石	島	下	来	新	開	松	大	藤	丸	田	口	松	藤	永	藤	良	保	田
54	専決処分の承認を求めることについて(宇佐市国民健康保険税条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
69	平成25年度宇佐市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成=○ 反対=× 退席=△

議長につき表決なし

市政一般に 対する質問

6月定例会では3日間にわたって、11名の議員が質問を行いました。

活用できる施設をめざしたい。

(2) 先進地を学んだり、保護者や関係者の意見を広く取り入れる体制を作べきだが。

答 先進地視察をしたい。関係者の意見を聴く場を設けていきたい。

問② 公共交通について、交通空白地域をどう克服していくのか。

答 2007年からコミュニティバスを本格運行させ、交通手段の確保を図ってきた。市内全域の交通体系調査を実施する予定で、バス路線の縮小状況や人口動態の変化などを検証しながら空白地域の解消に努めたい。

問③ 漁業について。

(1) 遠浅で、広大な干潟のある宇佐市の水産業は、県北の中核漁業基地として、重要な役割を担っている。しかし、漁獲量の減少や、魚価の低迷などで漁業経営は非常に厳しい。特に円安は燃油の高騰など漁業を直撃しているが、燃油代の補助をすべきではないか。国に対して要望すべきでないか。

答 国へ要望したい。市としては検討していきたい。

(2) 他市で実施している貸付資金の

利子補給について、宇佐市も支援すべきでないか。

答 検討したい。

(3) ブルーツーリズムへの支援は。

答 今年度から10家庭が、修学旅行者など受け入れている。今後も支援していきたい。

問④ 男女共同参画社会の取り組みについて、審議会の委員の女性の割合は20・9%、管理職の割合はわずか3%と低すぎる。推進するために、豊後大野市のように、「推進室」を設けて取り組みを強化すべきでないか。

答 今年、条例を制定し、3月には第2次宇佐市男女共同参画プランを作成し、ダイジェスト版を全戸に配布した。この計画を着実に推進するとともに、「審議会」等で審議を重ねながら実施していきたい。



勤労青少年ホーム



河野康臣（市民クラブ）

本年度の市長施政方針に関して

問① 第一次宇佐市総合計画後期基本計画の未達成課題は何か。

答 後期基本計画では、「美しい環境都市」「住みよい生活都市」「安らぎの健康都市」「誇りある文化都市」「豊かな田園都市」「賑やかな交流都市」「慎ましい未来都市」の7つを柱の下に、50の施策の方針、174の主要施策を定めるとともに、具体的な数値や期限などを目標にした101の目標を設定している。現在、4年目を迎え、過去3年間の「目標指標」の達成率は「予定以上に進捗若しくは概ね予定通り」が57%以上と見込んでいる。平成25年度は柳ヶ浦駅の道路整備、宇佐神宮周辺環境整備、平成の森公園整備等を中心に目標達成に向けて取り組む。

問② 第二次総合計画策定の重点課

「児童館」建設が実現へ



今石靖代（日本共産党）

問① 「児童館」の建設について。

(1) 子どもたちがあそびを通してすくすくと育っていきけるように、すばらしい「児童館」を作ってほしい。今後の計画は。

答 勤労青少年ホームと付帯の体育館を改修して、2014年度中の開館をめざして準備を進めている。1階を子育て支援の拠点機能をもたせ、気軽に立ち寄れる子育てサロンのスペースに、2階に図書室や遊戯室を配置し、児童館の「静」の部分にまた、「動」の部分として付帯する体育館を活用し、中高生でも気軽に

題は何か。

答 第二次総合計画の重点は予想される南海トラフ地震等に備えた「防災・減災対策」が喫緊の課題である。また、2025年には人口51,092人のうち、65歳以上は8,656人で高齢化率36・5%で少子高齢化の大幅な進行が予想されるため、「子育て支援対策」「健康福祉対策」、企業誘致や「定住促進対策」に取り組む。東九州自動車道開通に伴う観光振興などによる「交流人口増加対策」も重要である。加えて、農産物資源や歴史・文化・自然を生かした「特色あるまちづくり」を推進したい。総合計画策定のロードマップとしては26年度末策定に向けてのアンケートやシンポジウム等を実施したい。

問③ 伝承、民話、方言、史跡、無形・有形保存・記録事業をどう進めるか。

答 伝承、民話、方言、などの民俗資料の記録保存は重要である。史跡、有形・無形文化財についても、市文化財調査委員会が調査、審議し、文化財指定をしたい。「宇佐神宮御神能」と「ゆたて神楽」「十ヶ平神楽」「北山神楽」「麻生神楽」など「無形文化財」「民俗文化財」の価値の高いものは、記録映像化し、DVDとして保存している。今後は、歴史博

物館、宇佐の文化財を守る会、安心院縄文会、豊の国宇佐市塾やまちづくり協議会その他市民団体と連携して、地域の歴史や伝承を掘り起こしていく体制作りと子ども達や市民に広く伝えていく取り組みをする。

子宮頸がんワクチン、河川敷整備等に関して



後藤 竜也 (忠政会)

問① 子宮頸がんワクチン接種に関して。

(1) 接種に際し、危険性等の説明が十分に為されているか。

答 定期接種の対象者には有効性及び安全性の説明をしている。今後、国からの指導により勧奨はしないが、対象者には十分な説明をした上で接種するか否かを判断して頂く。

(2) 定期検診で子宮頸がんはほぼ100%防ぐことが出来る。その重要性は伝えているか。

答 検診率の向上に向けて努力する。



川部地区の河川敷

問② 市民の健康増進対策について。

(1) 市営のフィットネスジムが隣接市には整備されており、そちらへ通う方も多くいる。市民満足度を高める上でも市内に設置すべきだが。

答 諸事情を勘案した上で検討する。

(2) 医療費の抑制、健康増進に向けてハード面での整備も不可欠と考えるが市の見解は。

答 まずは住民の健康意識醸成に向けて、健康推進員の配置や特定健診の受診勧奨に全力を注ぐ。

問③ 河川、河川敷の整備に関して。

(1) サイクリングロードの管理責任は。周囲に雑草が生い茂り通行し難い箇所がある。また、これ以上の延伸計画はあるか。

答 管理は市が行っており除草作業は年2回委託している。時期、方法に関して検討する。また延伸は予定していないが、今後、より良い方向で活用される様、検討していく。

(2) 防災面、憩いの場創出の意味でも、雑草、雑木の生い茂る川部地区の河川敷整備を強く要望する。

答 現状は承知している。県の土木事務所に要望していく。

問④ 学校施設に関して。

(1) 市内小中学校にて、国旗掲揚台を設置している学校、未設置の学校のそれぞれの数は。

答 市内小中学校31校中18校が設置、13校が未設置となっている。

(2) 今後の設置予定は。未設置の状態で学習指導要領にある国旗、国歌を敬う気持ちを育むことは出来るか。

答 未設置の学校への設置は現時点で考えていないが、改築に該当する学校は、十分協議を行い、学校側の意向を尊重したいと考えている。国旗、国歌に関しては、学習指導要領に則り、入学式、卒業式での掲揚、斉唱を徹底していく。

(3) 津久見市、日田市ではほぼ全校で国旗の常時掲揚を行っているが。

答 宇佐市に於いては学習指導要領は徹底されており、それで十分だと考えている。

地域商店街の活性化他3項目



衛藤義弘（公明党）

問① 孤立死防止策について。

答 (1) 支援を必要とする方の把握はできているのか。

答 要援護者として市に登録されている人数は2,200人。

(2) 行政との共有化は。

答 各小学校区で自治会等を対象に説明会を開催している。

(3) 新聞配達・ガス・水道等ライフライン関係者との組織化は。

答 今後も関係機関・団体と連携を密にする。

問② 耕作放棄地の再生について。

答 (1) 宇佐市の放棄地の現状と面積は約8,400haの耕作面積のうち約240ha。高齢化や農産物の価格低迷等で増加傾向にある。

(2) 放棄地の与える影響は。

答 病害虫の発生や鳥獣被害、用排

水施設管理への支障。農村らしき景観が壊れ、廃棄物の不法投棄など環境悪化をもたらす。

(3) 発生抑制、解消に向けた対策は。

答 中山間地域等直接支払制度・農地・水・環境保全向上対策の活用で維持を図っている。国の対策事業や県の推進事業を活用し、農地の面的集積の促進で解消に努めている。

問③ 避難困難地域の対策について。

(1) 市として「避難困難地域」としての対応策は。

答 南海トラフ巨大地震の想定で、県の予測調査では、最大津波高到達時間が、和間海浜公園で3時間9分、郡中新田で3時間14分。避難完了まで津波浸水想定区域から海拔7メートル以上の土地に避難ができると考えているため、避難困難地域は無いと判断している。

(2) 避難ビル・避難タワーの新設は。

答 考えていない。

問④ 地域商店街の活性化について。

(1) 政府予算を利用した活性化事例があるか。

答 事業として、空き店舗を活用した「およこいどころ陣屋」の開店や休憩スポットとしてベンチを設置。

(2) 他市の事例を参考に有効活用できたか。

答 独自の研修会、専門家を招聘し魅力ある店づくりや、賑わいを生み

出す研究や活動を行っている。

(3) 予算を有効に使っているか。

答 まちなみ整備事業・子ども商店街事業・まちバル事業を実施し、国・県の施策や事業を活用し、活性化に努めている。



辛島光司（照政会）

『日本の中のUSA』の英語
子供・子育て情報の一本化

問① 是永市政2期目の抱負や方針は。

答 市民の皆様の声や議会での議論を踏まえてまとめた「継続・進化・挑戦プラン30」を全て実行できるように全力を尽くす。また、二期目にあたり「政策自治体となる」「スピード」「説明責任を果たす」という「トリプルS運動」の意識を職員間に浸透させていきたい。

問② (1) 世界的な国際化の中、宇佐市における人材育成の観点からも平成23年度より始まった小学5・6

年生の英語教育（外国語活動）は、とても重要だと思いが、宇佐市ならではの事業や取り組みは。

答 昨年度より小学生を対象に「ALTと過ごす夏休み1日キャンプ」を実施している。今年度は「宇佐市中学生短期留学」を計画している。



小学5・6年生の英語の教科書

(2) 小学校の先生方は試行錯誤での英語教育だと思いが、課題点などは。

答 今後、教職員が英語の指導に自信を持って取り組めるように、育成することが重要と考えている。

問③ (1) 小さい子供を育てているお母さんから、「雨の日（主に週末）に子どもを連れて行く場所が無い」との声を聞くが。

答 平成26年度に開設予定の「うさ児童館（仮称）」で、雨の日でも利用できる遊び場や居場所を確保する。

(2) 不妊治療において助成の状況と不妊で悩んでいる方々の現状把握は。

答 昨年度より、第2子以降にも助成できるよう範囲を拡大。23年度の16人から、昨年度の33人へと助成対象者が倍増した。現状の把握については、機会あるごとに状況をお聞きしてはいるが、十分ではないと認識している。

(3) 現在、各課で担当している「子供・子育て」に関する全てを一本化する窓口が必要だと思うが。

答 開設予定の児童館に、情報の集約と発信の機能を持たせたい。

問④ 宇佐市環境基本計画について、いかに市民を巻き込み、取り組んでいけるか、が重要課題だと思うが。

答 今年度に「環境基本計画推進委員会」を立ち上げ、市民へのPRや講演会等を計画している。

問⑤ 入札について、地場企業育成や社会貢献の概念を入札に反映させるべきだと思う。以前の答弁でも「調査・研究を行う」とのことだったが。

答 国・県や他の自治体の様々な先進事例を調査し、宇佐市の入札制度に取り入れていきたい。



大隈尚人（市民クラブ）

世界農業遺産決定について

問① 国東半島宇佐市地域が世界遺産へ登録されることになった。市として今後の取り組み等をどのように考えているか。

答 世界農業遺産とは、地域環境を生かした伝統的農法や伝統文化及び土地利用システムを次世代に継続していくことを目的に国連食糧農業機関（FAO）が認定するものである。本市においては、宇佐神宮を中心として千年以上営まれてきた農林水産環境システムや国の特定天然記念物であるオオサンショウウオの生息する自然環境が、世界に認められた。これは、大変名誉なことであり、農林水産業の振興や交流人口の増加に結び付けていく絶好のチャンスと考えている。

問② 災害時の申請は、区長が市役

問④ 高齢者サロンの利用者の交通手段としてバス運行ができないか。また、サロンの高齢者の見学や遠足などにバスの利用ができないか。



総合運動場の遊歩道

所に申請するが、緊急性を伴う工事が多く、申請の簡素化などスピーディな対応をすべきではないか。

答 対応については、スピーディーに対応しているが、今後より改善し、時間短縮に努めていきたい。

問③ 宇佐市総合運動公園の整備について、市民の健康増進や憩いの場としてかんぼの宿から公園へつながる遊歩道の造成をしたり、自転車の貸し出しをしたりしてはどうか。

答 市民の健康増進や憩いの場として、総合運動公園に隣接するかんぼの宿と風土記の丘を含めたウォーキングコースの設定などを協議していきたい。

河野睦夫（両院クラブ）

学校教育とスポーツ振興及び若者定住促進について

答 歩くことも高齢化予防の必要性があると考えている。見学や遠足などの計画もあろうかと思うが利用者同士で工夫していつてほしい。

問⑤ 食育について。

(1) 今回大分県でのタニタ大分県パージョンを三和酒類（株）をモデルに行ったが、市としてのかかわりをどう考えるか。

答 宇佐市は、この事業の企画段階から健康課、子育て支援課、農政課が、食育や地産地消の観点から参加し協力しており、今後も推進に取り組みたい。

(2) 食育課が必要と思うが市の考えはどうか。

答 市全体の食育計画は、健康課が窓口となり、現状での体制でいきたい。



体育の授業

問① 学校教育について。
(1) 学力向上への取り組み状況は。
答 宇佐市の児童生徒は、基礎・基本の定着状況調査から「活用力」を伸ばしていることが読み取れる。しかしながら、ここ数年間の学力調査を通じての課題も把握できており、本年度は「宇佐市学力向上アクションプラン」を立て、「子どもの主体的な学び」が見える授業づくり等を重点目標による取り組みを進めている。

(2) 体力向上への取り組み状況は。
答 宇佐市の小学生の体力は、県平均よりもかなり高い数値が出ている。しかし、中学生は、日常からの運動量が不足している傾向があり、県平

均を下回る項目が多く見られる。「宇佐市体力向上アクションプラン」を立て、小中学校の全児童生徒・教職員への縄跳びの配布によって体力の向上を図る。また、各学校が取り組んできた取り組みを一層進化させた、「二校一実践運動」の充実を図る。

問② スポーツ振興について。
(1) これまでにも文教委員会等で取り上げてきた、院内地域を「スポーツの町」とし、スポーツ振興の拠点とする考えは。
答 本年3月策定の「スポーツ推進計画」には、院内の平成の森公園の陸上トラックの全天候型化やクラブハウスの新設などの計画が盛り込まれており、今後も、院内地域をスポーツの拠点として捉え取り組んでいく。

(2) スポーツ大会及び合宿等の誘致の取り組みは。
答 市内での宿泊を伴う各種大会、合宿等の宿泊補助金制度を設け推進している。昨年度は、この補助金を活用し1,160名の方々が市内に宿泊されました。

問③ 若者の定住促進について。
(1) これまでの取り組み状況は。
答 子育て世代が親または祖父母と同居する新築、増築、改築に係る費用を補助する「家族支え合い住宅建設奨励金交付事業」を実施し、ふるさとへのUターン定住を促進してい

る。昨年度は、若者定住促進住宅を建築し、移住、定住を推進したところである。

(2) 「婚活」事業を取り組む考えは。
答 婚活イベントの開催支援や商店街の活性化につながる街コンイベントの開催、婚活サポーター制度の導入等を実施する「婚活応援事業」を本年度の若者定住促進の目玉と位置付けている。



加来栄一（日新会）

消防署の対応と地域福祉及び学校教育について

問① 消防署の対応について。
(1) 適マークが復活される様であるがその理由について。
答 福山市のホテル火災で7名が死亡した火災により本年度を別途に新たな適マーク制度に成る予定。

(2) AEDの点検管理と使用の指導は。
答 市内にAEDは160ヶ所設置、



AED 講習会

昨年2,300人が講習を受けている点検管理は市のホームページで知らせたい。

(3) グループホームの防火対策の強化は。
答 長崎のグループホームの火災を受け小規模な福祉施設に対してもスプリンクラーの設置義務が検討されている。

問② 地域福祉について。
(1) 障害者福祉で市は何を重点にしているか。
答 宇佐市自立支援協議会が中心になって障害者の方の日常生活の移動、余暇、就労支援などの充実に取り組んでいる。

問② 今有る社会福祉法人の施設や設備をもっと活用出来ないか。

答 介護保険教室の場や災害時の避難場所として協定をしているが、法人の社会的貢献活動の範囲の中でより連携したい。

問③ 就労支援A型のNPO法人を市は今後どの様に考えているか。

答 企業などで就労する事が困難な障害者に、雇用契約に基づく就労の機会の提供と最低賃金を保証し、利用者の自立した日常生活の大きな支援になっている。

問③ 学校教育について。

(1) 中学校の進路指導でもっと地元の高校を薦めるべきでは。

答 生徒一人一人が適正に応じた進路実現が出来る様、各高校とこれまで以上の連携を図っていく。

(2) クラブ活動の外部指導者は何名か。

答 柔道3名(1名は2校兼任)、剣道2名、相撲2名、ソフトテニス2名、野球2名、バレーボール2名、バトミントン1名の7種目14名となっている。

(3) 外部から採用された校長が苦勞している。校長にもっと権限を与えらるべきでは。

答 校長の掲げる教育目標に向かって全職員が組織的、一体的に学校運営に取り組んでいける様に指導支援

をしていく。



広崎譲二 (未来の風)

ふるさと給食で地産地消の促進を

問① 「ふるさと給食の日」について。
(1) 毎月「ふるさと給食の日」を設け地産地消に取り組むとの事ですが、具体的な取り組み内容を。

答 「ふるさと給食の日」には、宇佐給食センターと南部給食センター共に地元宇佐産の食材を取り入れた給食を提供している。野菜では、玉ネギ・小ネギ・白ネギ・大根・人参・ジャガイモ・大豆等。魚では、ハモなどの食材を使用した献立で給食を実施してる。

(2) 年間を通して使用している食材は。

答 小ネギ・白ネギだけで、玉ネギ・ジャガイモは季節だけである。

(3) どうして、年間を通して使用出来ないのか。

答 保冷庫が市内に無い為に、使用できない。

(4) 年間使用出来るようにしないのか。

答 これからの課題として検討する。



ふるさと学校給食のメニュー

問② 「人・農地プラン」について。

(1) 「人・農地プラン」を策定し農地の集積や青年層の新規就農者を図るとの事ですが、具体的に。

答 地域農業を担う経営体や生産基盤となる農地を、将来にわたって確保していく為の「未来の設計図」となる「人・農地プラン」の作成に昨年度から取り組んでいる。

(2) 宇佐市独自の取り組みは。

答 施設整備の資金上乘せプランしか無く、今から検討する。



用松律夫 (日本共産党)

市長が「深く反省しお詫び」と陳謝

問① 住宅の住所間違いについて。

(1) 市営佐々礼団地など102人の住所間違いに対し謝罪と反省を。

答 深く反省し、お詫び申し上げる。

(2) 手数料の無料期限の8月31日が過ぎても無料対応するのか。

答 8月31日にこだわらず対応する。

問② 区長さんや住民の方に負担をかけている学校寄付問題について。

(1) 贅沢品でないのに、なぜ寄付か。
答 必要なものはすべて教育委員会で購入している。

(2) 寄付は任意なのに、3千円前後で全世帯を対象に呼びかけているか。

答 あくまで自主的なものなので、意思表示をしていただきたい。

(3) 今後、高家・八幡・四日市小の建てかえがある。寄付自粛の通達を。
答 学校職員は一切関与していない。

問③ ゼロ戦模型の展示解説に「緒戦の勝利に大きく貢献した」とあり戦争美化ではないか。訂正を。

答 平和資料館の趣旨に反するので削除する。

問④ 憲法違反の人権・同和アンケートはやめよ。

答 実施の有無、内容は今後検討。

問⑤ TPPについて。

(1) 農水産物の打撃は約52億円だが、市の税収への影響は。

答 詳細は分からない。

(2) 除草剤に強い遺伝子組み換え種子などによる食の安全は。

答 アメリカの農薬会社が除草剤を売り、その一方で遺伝子組み換え種子でかなりのシェアを持っている事実は承知している。

(3) アメリカでは無保険の国民が4,700万人で、年間8万人が医療を受けられず、命を落としている。

また、盲腸の手術で169万円もかかると言われている。国民皆保険がなく自由診療がまかり通っているからだ。日本はどうなるのか。

答 皆保険が守れるよう要望する。

問⑥ 国保の広域化で宇佐市の国保税が試算で1人あたり7,061円も上がるが、広域化中止を国へ要望を。

答 医療費が上がらないよう健康づくりに力を入れている。

問⑦ 放課後児童クラブの利用料が最高は9千円だ。大分市のように助成を。

答 設置率が50%と県下でも低い。まず、増設してその後の課題だ。

問⑧ キリウの公害対策の約束は守られたか。

答 2月と5月に冷風装置と消臭装置、粉じんの飛散防止カーテンの設置を行った。



斉藤文博 (市民クラブ)

どう変わる「農業政策」

問① 農業問題について。

(1) 現在実施されている農家戸別補償制度は水田農業中心の宇佐市にとって分かりやすく計画が立てやすい事業と思うが、その成果と農家の反応をどう捉えているのか。

答 今年度より経営所得安定対策と名称の変更があったものの米・麦・大豆等、宇佐市農業における基幹作



田園風景

物に対する助成制度であり、多くの農業者が交付金の対象者となっており、新規需要米の効率的生産利用の促進、農地の利用集積による規模拡大等も含め、広く農業者にとって持続的な足腰の強い農業経営が行える有用な制度であると考えている。

(2) 安倍総理は農業分野の成長戦略として「所得倍増」の施策を実現すると位置付けている。宇佐市として考えられる具体策はどのようなものか。

答 農商工連携等による第6次産業化の推進を柱の一つとして、現在1兆円ある市場規模を今後10年間で10兆円に拡大するため、新たなビジネスモデルの構築を目指す意欲ある生産者に対して、公的資金による経

営支援制度「農林漁業成長産業化ファンド」を本格展開していくという考えが示されている。宇佐市として本ファンドの活用が有効と思われる農林漁業者等に対して十分な説明と周知を図っていくとともに、既に構築しているウサノチカラ創造塾等の6次産業化ネットワーク組織を基盤として国の制度を活用しながら人材育成・商品開発・販路拡大などの取り組みをより充実させ儲かる農業の推進に努める。

問② 広域ゴミ処理施設の建設は延期を余儀なくされたが、延期による施設運営費予算の負担はどれくらいになるのか。また委託業務を含めた今後の施設運営をどう考えているのか。

答 施設は、昭和57年1月稼働以来31年を経過しており、老朽化が進んでいたため、一昨年、昨年と2ヶ年にわたり延命化の整備対策を講じた。平成25年度の施設運営費総額は約2億9千6百万円ですが、広域ゴミ処理施設の共用開始までには突発的な故障等も予想され運営費の増大が危惧される。また、委託業務を含めた今後の施設運営は清掃事業局職員が順次退職予定であり、新施設建設を控えたなかで新たに職員を採用することが困難な状況を踏まえると今後十分な協議が必要と考えている。

議員の表彰

去る5月22日に開催されました第八十九回全国市議会議長会総会において、左記2名の方が永年表彰を受賞しました。また、衛藤博幸議員に全国市議会議長会より役職感謝状が贈られました。

《議員三十年以上》

徳田 哲 議員

《議員二十五年以上》

久保 繁樹 議員



暑中お見舞申し上げます。

公職選挙法の趣旨に基づき、暑中見舞などのあいさつ状を廃止しておりますので、紙上をもってごあいさつにかえさせていただきます。また本年初盆を迎えるご家族への供物、供花の儀につきましても失礼させていただきます。

市民皆様のご健勝をお祈りいたします。

宇佐市議会議員一同

市民の声

夏越祭り、たなばた祭り、みなと祭り、放生会、おせつたい、盆踊り……。宇佐を離れて暮らす我が家の子ども達にとって、故郷の祭りや伝統行事は今も懐かしく、心の寄りどころになっている様です。

今、宇佐はからあげブームです。他にも、焼酎、カニ、イカ、ネギ、スツポンなど全国に誇れる物産が、たくさんあります。それらを一同に集めて、市の内外にアピールできる（例えば以前あった産業祭の様な）祭りを、また始めてはいかがでしょうか。宇佐に住んでいる私達にも、宇佐の魅力を再発見できる、そんな催しを望みます。

先人達の伝統を守る祭り、宇佐の未来の発展のための祭り、宇佐にはその両方が必要だと思えます。（Y・T）

議会活動を広く市民の皆さんに理解してもらったため、みんなで協議しながら編集し、作成して参ります。
年4回開催される定例会終了後、発行する予定です。

委員長
副委員長
委員

衛藤義弘
今石靖代
廣崎讓二
新開洋一
辛島光司
後藤竜也
河野睦夫
井本裕明

編集後記



宇佐市議会広報誌「うさ議会」をご愛読誠にありがとうございます。さて、本紙より議会活性化特別委員会のメンバーが変わり、気持ち新たに広報誌の充実に努めてまいりたいと考えています。議長をはじめ、議員全員、市民の皆様方と行政を結ぶ「かけ橋」として鋭意努力をしてまいり所存でございます。市の行財政運営や事業の実施が適正かつ公平にそして民主的に執行されているか、今後も監視してまいります。さらに、より質の高い、きめ細かな行政サービスの提供、市民福祉の向上のため全力で働いてまいります。情報発信の場として正確かつ公正に市民の皆様方に親しんでもらえるよう紙面作りに頑張ってまいります。今後とも一層のご指導をお願い申し上げます。

議会活性化特別委員長 衛藤義弘



議会活性化特別委員会メンバー